

## 令和4年度 離任者メッセージ

### 關野 祐一 先生

18年間という長い時間をこの沼津城北高等学校で過ごすことになるとは少しも考えていませんでした（教員生活の約半分）。多くの学校で勤務するのも勉強になりますが、逆に一つの学校に長く居ると学校の中の変化が良く見えて、これもなかなか無い経験ができたと思います。

皆さんにとっては、3年という月日がどのように映っているのかわかりませんが、きっと貴重な体験であり、思い出であると思います。現在進行形ではあまり気にもしていないことが、過去に変わると多くの気付きや振り返りができるのではないのでしょうか。無駄な過去はありません。良い思い出や経験であっても悪い思い出や経験であっても、それはきっと今に繋がっているし、今を生きるための糧となるでしょう。

過去・現在・未来、この3つを人生というのは繰り返すわけです。今この時はすぐに過去になるのです。最悪の現在が最良の未来に変わることもあります。細かいことは気にせず今できることを一生懸命やればよいのです。そして、未来がより良い方向に向くように努力すればよいのです。一つの節目が終わりまた新たな生活が始まる。みなさんもぜひ未来を見つめて頑張ってください。ありがとう沼津城北高校、ありがとうみなさん。

### 野村 奈津子

3年間お世話になりました。大学を卒業してすぐ沼津城北高校に非常勤講師として教員生活を始め、あっという間の三十数年でした。みなさんには感謝の気持ちでいっぱいです。

定年までにまだ何年かありますが、私は何もできない人なので、もう潮時かなと思い、退職を決めました。先日のWBCの準決勝で、2塁ベース上で雄叫びを上げ、チームを鼓舞した大谷選手。私は「村上君頑張れ」と祈るしかありませんでした。私に大谷君の100分の1でもみんなを鼓舞する力があればと思うのですが、それすらできそうもありません。私にできることは「城北生頑張れ」と祈ることだけです。自分を大切に、人生を楽しんでください。ありがとうございました。

### 小泉 洋幸 副校長

沼津城北高校では、平成31年4月から4年間、お世話になりました。沼津城北高校には、真面目で素直な生徒がたくさんいて、気持ちのいい挨拶をしてくれるので、いつも生徒から元気をもらって過ごすことができました。ありがとうございました。城北の生徒は、誰もが多くの可能性を秘めています。可能性を存分に発揮し、各自が目指す「新しい景色」を見るために、日々を大切に過ごしてください。

### 小林 誠 教頭

2年間お世話になりました。沼津城北高校では、授業や掃除のときにしか皆さんと関わることができなかったのですが、いろいろな部活動や修学旅行の引率で、久しぶりに本来の教員らしいことをすることができてとても楽しかったです。

高校生活は、長い人生のたった3年間ですが、きっと一生に残る思い出を作ることができると思います。良い思い出も悪い思い出も時間が経てばきっと微笑むことができると私は信じています。日本史演習の生徒には最後の授業で「未来を信じ、未来に生きる」との話をしました。みなさんは未来に生きる大事な宝です。俯かず前を向いて歩くことを期待します。

古谷 知美 事務長

令和2年度から3年間の勤務でした。

コロナ禍でいろいろな制約のあった中でしたが、城北高生の活躍や生き生きとした姿を間近で見ることができ、元気を分けてもらいました。

皆さんが益々成長し、これからも御活躍されることを祈念しております。

ありがとうございました。

大平 和成 先生

卒業生へ

6年間お世話になりました。ありがとうございました。今になって振り返ってみるともがき続ける6年間でした。クラス担任として関りながら、数学を教えながら、野球・サッカーに励む部員たちの様子を見ながら、私自身も非常に多くのことを勉強させていただきました。クラスや部活で関わった生徒達には、「一生懸命に頑張れ」という言葉を言い続けてきましたが、やっぱり、一生懸命に頑張ることが一番大切なんだと思います。これから先の人生でどんなことが起こるか分かりません。そんなときも、私自身一生懸命に頑張ろうと思います。君たちも一生懸命に頑張ってください。そうすることで少しずつ良くなっていくのではないかと思います。

森 綾子

城北高校で楽しく（私は）授業できた時間は本当に良い思い出です。皆さんと時間を共有できた事を嬉しく思っています。

英語は教科ではなく言語です。自分の人生を豊かにするために楽しく英語と付き合ってくれる事を願っています。Best Wishes!

